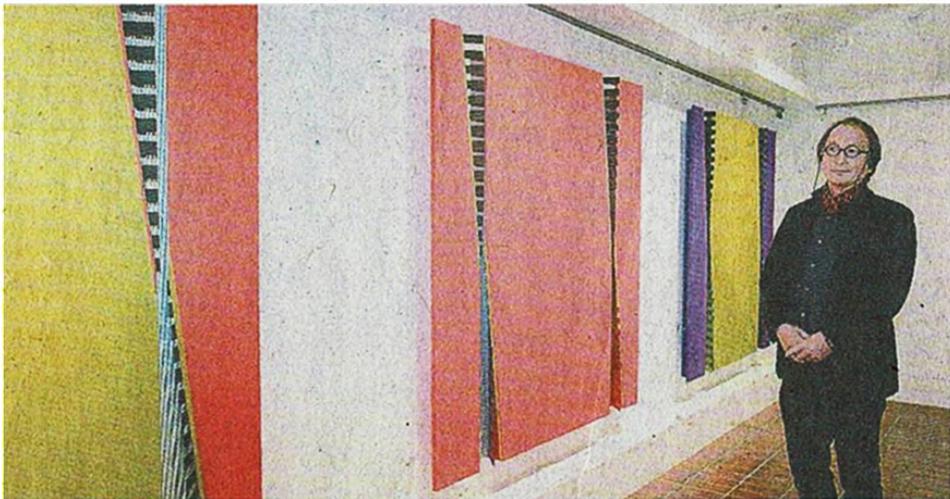


文化圏



日本の色彩と錯視効果を融合させた星加民雄さん（右）の作品が並ぶ展覧会場。熊本市

◇星加民雄展 熊本市西区の島田美術館で開かれている。24日まで。崇城大准教授の星加さん（63）が、同市が、錯視を取り入れた14点を展示。十二単をイメージした165センチ四方の平面3作品は朱赤、萌黄、桔梗の各色を組み合わせて「日本の美」を表現した。余白部分には細い縦じまを背景に複数の厚紙を配列しており、見る角度を変えることで「揺らぎを覚える、緊張感のある間」を作り出している。星加さんは「視覚を通じた作品との対話を楽しんでほしい」と話している。日本とフィンランド国交100周年記念展覧会への出品作。